

平成 28 年度第 1 回一橋大学機関リポジトリ運営会議議事要旨

日 時：平成 28 年 7 月 27 日（水）16 時 00 分～17 時 15 分

場 所：附属図書館会議室

出席者：山部（統括責任者）、古澤、清水、松園、佐藤、東松、鈴木 各委員

欠席者：石川、小岩、神林 各委員

陪席者：研究開発室（福田）

事務局：学術情報課（林、大田垣、山本、古谷）

委員の紹介

議事に先立ち、平成 28 年度機関リポジトリ運営会議委員の紹介があった。

I. 前回議事要旨の確認

資料 1 に基づき、前回議事要旨の確認を行った。

II. 審議事項：

1. 平成 27 年度機関リポジトリ事業決算報告（案）

大田垣電子情報係長より、資料 2 に基づき説明があり、原案通り承認された。

2. 平成 28 年度機関リポジトリ事業計画（案）

大田垣電子情報係長より、資料 3 に基づき説明があり、次の通り質疑応答を行った。

- オープンアクセスポリシー案の検討は、中期計画に基づくものと理解している。検討でよいのか、策定まで行うのか？→検討を行う。

研究者インタビューについて、次の通り意見があった。

- インタビューの目的がはっきりしない。教員の理解を深めたいなら、学内会議や FD 研修の場で周知してはどうか。
- 直接話をするに意義があるならば、この運営会議の場で意見聴取をしてはどうか。

審議の結果、研究者インタビューについては実施を見直すこととし、その他の事業計画は原案通り承認された。

3. 平成 28 年度機関リポジトリ事業予算（案）

大田垣電子情報係長より、資料 4 に基づき説明があり、次の通り質疑応答を行った。

- 昨年度、「西川文庫」のインターネット公開に係る文化庁裁定申請ができなかった理由は？→申請するためには、コンテンツの価値や利用見込みを調査し、補償金を算出しなければならない。昨年度はその調査が完了しなかったため、申請できなかった。

審議の結果、原案通り承認された。

4. 一橋大学オープンアクセスポリシーの策定について（案）

大田垣電子情報係長より、資料5に基づき説明があり、次の通り質疑応答を行った。

- 資料3の事業計画では「オープンアクセスポリシー案の検討」となっているが、資料5は「オープンアクセスポリシーの策定」となっている。第3期一橋大学中期目標・中期計画の平成28年度計画の表現はどうなっているか？→「検討する」となっている。
- 京大のオープンアクセスポリシーをモデルとするのであれば、策定は容易か？→このオープンアクセスポリシーの下に、具体的な要項を作成する必要がある。その際は教員から意見が出ると予想しており、調整を行う必要がある。

また、次の通り意見があった。

- 原則公開すると言い切ることに意味はあると思うが、そこまで記載するか検討を行う。
- 著作権を学会がもっている場合など、オープンアクセスがうまくいかない話もある。
- 著作権を学会がもっていても、著者最終稿なら可としているところは多い。ただし、著者最終稿を教員が保存しているか、また著者最終稿が紙ベースの場合はどうするか、など課題がある。

審議の結果、オープンアクセスポリシーは平成28年度計画の通り、検討することとした。

5. 一橋大学機関リポジトリ登録コンテンツへのデジタル識別子（DOI）の付与について（案）

山本電子情報係員より、資料6に基づき説明があり、次の通り質疑応答を行った。

- DOIの付与は第3期一橋大学中期目標・中期計画の実績になるのか？→中期目標・中期計画に対応する平成28年度附属図書館行動計画に記載されており実績になる。
- DOIの付与は世界的な流れと考えてよいか？→よい。科研費の申請書類にも記載欄が設けられている。

審議の結果、原案通り承認された。

6. 貴重書のデジタルアーカイブ事業の中長期的計画について（案）

大田垣電子情報係長より、資料7に基づき説明があり、原案通り承認された。

7. その他

特になし。

III. 報告事項：

1. 平成27年度一橋大学機関リポジトリ事業実施報告

大田垣電子情報係長より、資料8に基づき報告があった。

2. 「博士論文提出予定者向け著作権ガイダンス～学位規則改正に伴う博士論文の全文のWeb公開について～」開催報告

大田垣電子情報係長より、資料9に基づき報告があった。

3. 平成27年度機関リポジトリに関する研究者へのインタビュー実施報告

大田垣電子情報係長より、資料10に基づき報告があった。

4. 「オープンアクセスリポジトリ推進協会」への参加について

大田垣電子情報係長より、資料11に基づき報告があった。

5. 公益財団法人図書館振興財団平成27年度振興助成事業の実施報告

大田垣電子情報係長より、資料12に基づき報告があった。

6. 慶應義塾大学及び国文学研究資料館との共同研究の実施について

大田垣電子情報係長より、資料13に基づき報告があった。

7. 平成28年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究成果公開促進費）「データベース」の採択について

大田垣電子情報係長より、資料14に基づき報告があった。

8. 公益財団法人図書館振興財団平成28年度提案型助成事業「郷土資料・貴重資料等のデジタル化および公開事業」の申請について

大田垣電子情報係長より、資料15に基づき報告があった。

9. 一橋大学機関リポジトリ“HERMES-IR”の利用統計について

古谷電子情報係員より、資料16に基づき報告があり、次の通り質疑応答を行った。

- 閲覧件数の多さおよび上昇の原因はなにか？→ロボットや検索サイトに登録されたことなどが考えられるが明確な原因は不明。原因の調査および正確な数値の算出は今後の課題である。

10. その他

特になし。

IV. その他：

特になし。

(以上)